

建築法規（共通科目）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 3年 共通科目
使用教科書	建築法規（実教出版）				
副教材等	建築基準法令集、担当教員が配布するプリント				

「建築法規」はどんな科目？

建築物は、生活空間を構成する基本的要素である。建築法規はこの生活空間の悪化の防止を目的として、すべての建築物に適用される基本的なルールであり、建築技術者として不可欠な知識として学習する。

「建築法規」の学習の特徴は？

建築法規は、難解な法規の一つに数えられているので、基本的な事項をできるだけ平易に解説するとともに、このような法規がなぜ必要なのかを理解できるように、できるだけ具体的に説明する。

「建築法規」で大切なこと（留意点）は？

必要最低限の法規を覚え、理解するとともに、建築基準法令集の見方、使い方を習得し、建築設計に役立てる。将来の資格取得（建築士・建築施工管理技士等）の必要知識を身につける。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第1章 建築法規のあらまし	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法の意義を学び、建築物の特徴、法規の体系を知る。 ・法令用語を学び、建築物の面積算定ができるようにする
	5	1. 建築法規の起源	
	6	2. 建築基準法の意義 ＜中間考査＞	
	7	3. 法規の体系と建築基準法の構成 4. 建築基準法の用語と面積算定 ＜期末考査＞	
2 学 期	9	第2章 個々の建築物にかかわる規定	<ul style="list-style-type: none"> ・一般構造についての規定（採光と日照、換気、各部の高さ、遮音、階段、廊下等）を学ぶ。 ・建築物が構造上安全に建てられるために必要なことを学ぶ。 ・防火と避難に関する建築基準法と消防法の内容について学ぶ。 ・人命の安全に特に関係深い衛生設備・給排水設備・換気設備・昇降機などの規定を学ぶ。
	10	1. 一般構造についての規定 ＜中間考査＞	
	11	2. 構造強度についての規定	
	12	3. 防火と避難についての規定 4. 建築設備についての規定 ＜期末考査＞	
3 学 期	1	第3章 良好な都市環境をつくるための規定	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法の目的を知り、用途地域（第一種住居専用地域等）防火地域・準防火地域とは何かを学ぶ。 ・建築面積の敷地面積に対する割合、延べ面積の敷地面積に対する割合を求めることができるようにする。 ・建築物の高さ等の形態に関する規定を学ぶ。 ・良好な都市環境の保護のために、形態規制について学ぶ
	2	1. 都市計画法と建築基準法 2. 土地利用 3. 道路と敷地 4. 密度に関する規定 5. 形態に関する規定 6. 良好なまちづくり ＜学年末考査＞	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	建築物や都市生活の安全性、良好な都市環境を保つ観点などから、建築法規の必要性や諸問題などについて幅広く関心を持ち、設計や施工者としての、創造的・実践的な態度を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備 ・授業態度 ・授業ノート ・出欠席状況
思考・判断・表現	都市生活における安全や、生活環境を取り巻く諸問題の解決をめざす建築法規の持つ役割を理解し、自らの思考を深め、実践的な事例に対して適切な判断能力を表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答 ・発表発言
技能	建築物の設計や施工にかかわる、実践的な業務に必要な建築法規に関する知識を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートづくり ・プリント
知識・理解	建築の関連法規を包括的に学習し、建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身につけるとともに、建築法規の持つ意義や効果を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト

このため、評価は、具体的には次のものを対象とする。

- ・ノート : 板書だけでなく、必要と思ったことが整理して記入してあるかどうか。
- ・定期考査 : 建築法規に関する基礎的な内容を理解しているかどうか。
- ・授業態度 : 授業をただ受けているだけでなく、積極的に参加しているかどうか。

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定する。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

普段の授業を真剣に取り組み、ノートやプリント・課題をしっかりとめて必ず提出し、期限も必ず守ること。また、定期考査にも意欲的に取り組むことが大切である。